

1 はじめに

以前アナウンスした通り、学科サーバー班が管理運用していたメールサービスを Gmail に移行することとなりました。2 月中を目処に、このドキュメントを参考にしつつ Gmail に移行して頂きたいと思ひます。また、移行が完了した際はサーバー班へ連絡をお願いします。

2 GoogleApps への移行ドキュメント

1000 万人以上の学生が Google Apps を使用しています

クリック Google Apps for Education

Gmail、カレンダー、ドキュメント。
Google Apps Education Edition では、教職員や学生がより効率的にコラボレーション、学習できるように、広告表示のないカスタマイズ可能な一連のツールを無料で提供しています。

教育機関向け Google Apps を利用する

コミュニケーション – ホストされたメール、共有カレンダー、統合されたビデオチャットでコミュニティの対話を促進します。

コラボレーション – Google ドキュメントと Google サイトにより、教員や学生はいつでもどこでもオンラインでドキュメントを共有できます。

インフラストラクチャとセキュリティ – 学校のドメインの安全性とセキュリティを維持しながら、簡単に既存の IT システムを Google Apps と統合します。

大学向け Apps
先進的な大学は Google Apps を利用して、学生が求める高度な技術を提供しています。詳細 »

幼稚園、小中高校向け Apps
教室に Apps を導入して 21 世紀の学校を構築しましょう。詳細 »

Figure 1: 教育機関向け GoogleApps ページ

<http://www.google.com/a/help/intl/ja/edu/index.html>

上記の URL から「教育機関向け Google Apps を利用する」を選択します。上記の画像の右側のボタンです。

Google Apps にお申し込みいただくには、お客様の組織のドメイン名を入力してください

メールにはサードパーティのドメインではなく、独自のドメイン名を使用してください。たとえば、メールアドレスを「ユーザー名@gmail.com」ではなく、「ユーザー名@ドメイン名」とします。

ドメイン入力

ドメイン名を入力してください

登録を続行

メールに使用するプライマリ ドメインを「example.com」のような形式で入力してください。ご自身がこのドメインの所有者である必要があります。サービスを有効にした後で、他のドメインを追加できます。

他にも質問がありましたら、[よくある質問](#)をご覧ください
組織全体への導入前に試験運用を行いますか？ [導入スペシャリストに問い合わせ](#)

Figure 2: ドメイン記入ページ

ドメイン名を入力するページが開くので、ドメイン名を入力します。上記の画像の楕円部分に各研究室のドメインを入力してください。

Google Apps for Education に登録する (手順 2/3)

登録すると Google Apps (無償版) に自動的にログインします。その後 Google Apps for Education へのアップグレード手順が表示されますので、手順に従って非営利の認可学校法人であることを証明します。

・必須項目

記入必須項目

ユーザー数 * (例: 10、20、500)

アカウント管理者

名 * (例: 太郎、花子)

姓 * (例: 山田、鈴木)

メールアドレス * 有効なメールアドレスを入力してください。

電話番号 *

国/地域 *

役職 (例: 社長、システム管理者)

チェック

Google Apps では、サービスを正しく設定するため DNS を変更する必要があります。 [詳細](#)
 ドメインの DNS レコードを変更できない場合、組織で使用できる Google Apps の機能に影響する場合があります。ご理解します。

Figure 3: 登録ページ -アカウント管理者-

申し込み画面が表示され、ここでアカウント管理者を登録します。「ユーザー数、アカウント管理者の名前、メールアドレス、電話番号、国/地域」の必須項目を埋め、チェックボックスにチェックを入れます。

例
 ユーザー数：100 (入力した数字以上のアカウント作成できます)

アカウント管理者欄ですが、研究室の担当の方に作ってもらうのが良いでしょう。

例
 名：智和
 性：長田
 メールアドレス：nagayan@ie.u-ryukyu.ac.jp
 電話番号・以下は略します。

組織の情報

組織名* (例: ミスカトニック大学、ブラクトン大学)

タイプ* 教育機関 非営利団体 **記入必須項目**

学校種別* 種別を選択してください... ↓

組織の規模 サイズを選択... ↓

組織内で現在メール アカウントを提供していますか
 はい
 いいえ

提供している場合、メールサーバー ソフトは何をお使いですか。
 (例: Microsoft Exchange)

Google Apps へのお申し込みに関して Google のセールス チームのサポートはありましたか。
 はい
 いいえ

Figure 4: 登録ページ -組織情報-

次に、「組織名、タイプ、学校種別」の必須項目を埋め、次へ進みます。

例

組織名：琉球大学 研究室
タイプ：「教育機関」にチェック
学校種別：「大学」を選択

設定 - 管理者アカウントを作成 (手順 3/3)

最初の管理者アカウントを作成してください。後日行う場合は、メールに記載の手順を参考にしてください。

* 必須項目

管理アカウント情報

管理者アカウント

ユーザー名 * @eltya.ns.ie.u-ryukyu.ac.jp

このアカウントを使用してドメインを管理します。

パスワード * 8文字以上にしてください。

パスワードの再入力 *

文字の確認 画像に表示されている文字を入力してください。

↓ CAPTCHA入力



大文字と小文字は区別されません。

Figure 5: 管理者アカウント作成ページ

「ユーザー名、パスワード、パスワードの再入力、CAPTCHA」を入力します。

例

ユーザー名：admin
パスワード以下略

利用規約

設定プロセスを続行するには、利用規約を確認の上、同意することをご提示いただく必要があります。下にある「同意」をクリックすると、下記の利用規約、[ログラムポリシー](#)、[プライバシーポリシー](#)に同意したことになります。

Google Apps for Education 契約

Google Apps for Education オンライン契約（以下「**本契約**」）は、1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, California 94043 に拠点を置く Delaware 州法人である Google Inc.（以下「**Google**」）と、本契約に同意する当事者（以下「**お客様**」）との間で締結されます。本契約は、お客様が下の [同意する] ボタンをクリックした日（以下「**発効日**」）から有効となります。お客様が雇用者または他の当事者を代行して同意する場合は、次の点を表明し保証するものとします。お客様は (i) 雇用者またはその他の当事者を本契約の条項に対して拘束する法的な権限を保有する、(ii) 本契約を読んで内容を理解している、(iii) 当事者に代わって本契約に同意する。お客様が雇用者または該当する当事者に対する法的な拘束力を持たない場合は、下の [同意する] ボタンをクリックしないでください。本契約は、お客様のサービスへのアクセスお

[印刷用](#)

下記の [同意する] をクリックすると、その他の Google サービスの次の利用規約にも同意したことになります

追加サービスの追加利用規約

あなたがお申し込み中または締結済みの Google Apps 契約（以下、「**Google Apps 契約**」）は、Google Apps 契約で規定されるサービスについて、Google Apps 契約にお申し込みされた、または同意した当事者（以下、「**お客様**」）と Google Inc., Google Ireland Limited or Google Asia Pacific Pte. Ltd.（以下、「**Google**」）の間で締結されます。Google は、お客様のドメインのコントロール パネルを介して、追加のアプリケーション（サービスを越えるもの）を随時提供することがあります（以下、「**追加サービス**」）。お客様は、そのような追加サービスを使用することにより、下記の追加規約（以下、「**追加規約**」）に同意したことになります。お客様が追加サービスの使用の開始を希望しない場合、またはお客様をこれらの追加規約に拘束するための必要な権限があなたにない場合は、コントロール パネルでかかる追加

[印刷用](#)

無料の新しいサービスが利用可能になった時点でユーザーに対して自動的に有効にする
このオプションを選択すると、新しいサービスを手動で追加してユーザーがアクセスできるようにする必要はなくなります。 [詳細](#)

チェック

クリック

Figure 6: 管理者アカウント作成ページ

利用規約を読み、チェックボックスにチェックを入れ、「同意して、設定を続行」から次に進みます。登録したら、管理画面に進むことができます。

管理画面の URL は、「<https://www.google.com/a/your-domain>」となります。

注意：「your-domain」の部分は登録したドメインが入ります。

管理画面のセットアップからセットアップウィザードの指示通りに進める事で設定は完了します。各研究室の用途に沿って設定を進めてください。

3 ドメインホストでのMXレコードの変更

ドメインホストでのMXレコードの変更

- ホスティングアカウントにログインし、MXレコードの管理ページにアクセスします。[ドメインホストの特定](#)
MXレコードは、一般的に **[DNS管理]**、**[メールサーバー設定]**、**[ネームサーバー管理]** などのセクションにあります。MXレコードを編集するには、詳細設定を有効にする必要がある場合もあります。
- 既存のMXエントリをすべて削除します。デフォルトでMXレコードが既に設定されている場合があります。
- 次のMXレコードを入力します。
次の表に記載されている優先値を設定できない場合があります。設定可能な場合は、各レコードについて以下の優先値を設定してください。優先値を設定できない場合は、「`aspmx.l.google.com`」のみを入力します。TTL値には1時間（値は3600）を設定します。

優先値	参照先
1	ASPMX.L.GOOGLE.COM.
5	ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM.
5	ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM.
10	ASPMX2.GOOGLEMAIL.COM.
10	ASPMX3.GOOGLEMAIL.COM.

注: ASPMX.L.GOOGLE.COM. が優先度の高いメールサーバーです。他のサーバーには優先値を入力しないでください。メールサーバーの優先度の詳細については [こちら](#) をご覧ください。必要に応じて、MXレコードのフォーマットに従い、完全修飾ドメイン名の末尾にドット (.) を付けます (例: `server.example.com.`)。

- 変更を保存します。

これで、MXレコードがGoogleを参照するようになります。ただし、この変更は即座に反映されるわけではなく、反映されるまでに24時間程度かかることがあります（それより早いことも多々あります）。24時間経過後にもレコードが変更されない場合は、ドメインホストにお問い合わせください。

Figure 7: 管理者アカウント作成ページ

MXレコードの変更はサーバ班で行います。

上の画像のような画面にきましたら楕円の内容をメールの文面にのせてサーバ班まで依頼をお願いします。

4 最後に

移行が完了したら、サーバ班へ連絡をお願いします。